



【学習目標】

- 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよ
とする態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材

教科書 「小学生の音楽5」 (教育芸術社)

持ち物

教科書	ファイル	筆記用具	下敷き
鍵盤ハーモニカ	リコーダー	タブレット	

【学習の約束】

- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- 楽器を大切に使いましょう。
- よい姿勢で歌いましょう。
- 音楽を楽しみながら聴きましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】

前期	後期
1. 歌声をひびかせて心をつなげよう 2. 音の重なりを感じ取ろう 3. いろいろな音のひびきを味わおう 4. 和音のひびきの移り変わりを感じ取ろう	5. 曲想の変化を感じ取ろう 6. 詩と音楽の関わりを味わおう 7. 日本の音楽に親しもう 8. 思いを表現に生かそう ※子どもたちの様子や社会情勢、他の行事との関係で学習する順序を変える場合があります。

【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法
知識・技能	曲想をとらえて歌う。 正しい演奏法を身につける。	授業の様子 歌のテスト 楽器のテスト
思考・表現	豊かな発想をし、演奏の仕方を工夫する。音楽を聴いて、そのよさを美しさを味わう。	授業の様子 発言・発表 鑑賞
主体的に取り組む態度	主体的に音楽の学習に取り組む。	授業の様子 発言・発表 ふり返り